

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 22 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県大牟田市浅牟田町

住 所
3-1

三井金属鉱業株式会社 セラミックス事業部

氏 名
事業部長 永留朝郎

電話番号 0944-57-3221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井金属鉱業株式会社 セラミックス事業部 大牟田工場
事業場の所在地	福岡県大牟田市浅牟田町3-1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	売上高 9,485百万円 (2022年度)
③ 従業員数	415名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	*別紙1参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
セラミックス事業部の管理体制	
役職名	
環境管理責任者	安全環境室長
環境管理副責任者	管理室長
環境管理委員	品質保証部長、新商品開発部長、製造課長、生産企画課長、技術課長、築炉係長、黒物係長、白物係長、ハイセラ係長、メタロ係長、仕上・検査係長、設備課長
事務局	安全環境室長



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
	排出量	22.645 t	437.84 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	排出量	868.727 t	60.01 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	排出量	43.374 t	11.23 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	10.72 t	1.38 t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類
	排出量	0.1238 t	0.0791 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
（これまでに実施した取組）			
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル可能な陶磁器くずをリサイクル業者へ売却 ・産廃処分を行っている陶磁器くずのリサイクル化検討 ・製品直行率の改善活動 ・フィルタープレス導入による汚泥中の水分絞り込み 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
	排出量	27 t	420 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	排出量	320 t	82 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	排出量	37 t	12 t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	2 t	0 t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類
	排出量	0.1 t	0.1 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
（今後実施する予定の取組）			
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル可能な陶磁器くずを更に増やす ・製品直行率の改善活動（中間不良品の再使用など） ・遠心分離機の有効活用と追加導入 ・高BOD排水の分解など処理方法の検討 			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ、ガラス・陶磁器くず、木くず等 安全環境室担当者にて2回/週巡回しチェック実施。監視カメラ設置。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 2回/週の巡視、産廃置場の確保および標示明確化徹底の継続実施。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度 (4年度) 実績】			
産業廃棄物の種類		廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
①現状	全 処 理 委 託 量	22.645 t	437.84 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	37.69 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	9.74 t	2.21 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚泥	木くず
	全 処 理 委 託 量	869 t	60.01 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	104.977 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	401.777 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.227 t	0 t	
(これまでに実施した取組) ・新たに産業廃棄物処理業者と契約を結ぶ際は、信頼できる業者である事を重点的に評価実施。 ・委託処理業者にて適正に処理されているかの現地確認を実施 (1回/年)。 ・現地確認する担当者を増やした。			
【目標】			
産業廃棄物の種類		廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず
②計画	全 処 理 委 託 量	27 t	420 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	40 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	15 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚泥	木くず
	全 処 理 委 託 量	320 t	82 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	100 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	300 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組) ・継続して現地確認を実施し、適正に処理されているかの確認を確実に行う。 ・各メディアからの情報収集を行う。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 (4年度) 実績】				
産業廃棄物の種類		金属くず	廃アルカリ	
①現状	全 処 理 委 託 量	43.374 t	11.23 t	
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	11.23 t	
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	43.33 t	11.23 t	
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		廃油	廃酸
	全 処 理 委 託 量	10.72 t	1.38 t	
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	10.72 t	1.38 t	
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	10.67 t	1.38 t	
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	1.38 t		
(これまで実施した取組) ・新たに産業廃棄物処理業者と契約を結ぶ際は、信頼できる業者であることを重点的に評価実施。 ・委託処理業者にて適正に処理されているかの現地確認を実施 (1回/年)。 ・現地確認する担当者を増やした。				
【目標】				
産業廃棄物の種類		金属くず	廃アルカリ	
②計画	全 処 理 委 託 量	37 t	12 t	
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	12 t	
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	37 t	12 t	
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		廃油	廃酸
	全 処 理 委 託 量	2 t	0 t	
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2 t	0 t	
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2 t	0 t	
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
(今後実施する予定の取組) ・継続して現地確認を実施し、適正に処理されているかの確認を確実に行う。 ・各メディアからの情報収集を行う。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

【前年度（4年度）実績】			
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類	
全処理委託量	0.1238 t	0.0791	t
優良認定処理業者への委託量	0.1238 t	0.0791	t
再生利用業者への委託量	0.1238 t	0.0791	t
認定熱回収業者への委託量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類			
全処理委託量	t		t
優良認定処理業者への委託量	t		t
再生利用業者への委託量	t		t
認定熱回収業者への委託量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t		t
(これまでに実施した取組) ・新たに産業廃棄物処理業者と契約を結ぶ際は、信頼できる業者であることを重点的に評価実施。 ・委託処理業者にて適正に処理されているかの現地確認を実施（1回/年）。 ・現地確認する担当者を増やした。			
【目標】			
産業廃棄物の種類	蛍光灯	廃電池類	
全処理委託量	0.1 t	0.1	t
優良認定処理業者への委託量	0.1 t	0.1	t
再生利用業者への委託量	0.1 t	0.1	t
認定熱回収業者への委託量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t		t
産業廃棄物の種類	0	0	
全処理委託量	t		t
優良認定処理業者への委託量	t		t
再生利用業者への委託量	t		t
認定熱回収業者への委託量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t		t
(今後実施する予定の取組) ・継続して現地確認を実施し、適正に処理されているかの確認を確実に 行う。 ・各メディアからの情報収集を行う。			

①現状

②計画

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程(2022年度実績)

産廃の種類		収集運搬業者	中間処理		最終処分	
区分	具体的品目		中間処理業者	処理の方法	最終処分業者	処理の方法
廃プラスチック	ビニール、フレコン類	有働耕助商店	有働耕助商店	圧縮・切断	トクヤマ	焼成・焼却後 再生利用
		塚崎運送	四山資源リサイクル	その他中間処理	-	-
	塩ビ類、フィルター	森商事	アサヒフリテック	焼却	-	-
		塚崎運送	四山資源リサイクル	破碎	-	-
		有働耕助商店	有働耕助商店	圧縮・切断	福南	安定型埋立
ガラス・陶磁器 くず	廃石膏型、他	塚崎運送	-	-	ダストワールドクリーン	安定型埋立
					大成リース	
					吉野開発	
					フタマタ開発	
	陶磁器及びダンボール		四山資源リサイクル	破碎	-	-
	ガラス、瓶、他	有働耕助商店	有働耕助商店	圧縮・切断	福南	安定型埋立
蛍光灯	ジェイ・リライツ		破碎	-	-	
汚泥	石膏残渣	森商事	オデッサー	造粒固化	-	-
	洗浄廃液		ダイセキ	混練	-	-
	廃薬薬品、混合品		-	-	光和精鉱	焼却
	20L容器、臭気有り汚泥		アサヒフリテック	焼却	ひびき灘開発	管理型埋立
	残土	坂口組	九州産廃処理センター	-	-	-
	石膏残渣	塚崎運送	四山資源リサイクル	セメント固化	-	-
木くず	パレット、他	小野商店	九州バイオテック	破碎	-	-
廃アルカリ	アルカリ廃液	森商事	ダイセキ	混合	-	-
廃油	機械油	森商事	ダイセキ	燃料化	-	-
廃油	機械油	森商事	アサヒフリテック	焼却	-	-
廃電池類	廃乾電池	有働耕助商店	ジェイ・リライツ	破碎	-	-
廃酸	混酸	森商事	-	-	光和精鉱	焼却
金属くず	金属類	小野商店	小野商店	選別・切断	-	-
		エコー電子工業	エコー電子工業	破碎	-	-